

壁紙施工要領書

- 織物壁紙① -

【該当品番】（2013－2017WD）

LY－14497～14504、14571、14604～14607

LY－14612～14614、14616、14653

■特長

横糸基調がより強調された商品です。織りの風合いが楽しめます。

■下地調整

- ・商品の厚みが薄い商品ですので、施工後の、下地の不陸の目立ちを避けるために、下地面はできるだけ平滑に仕上げるようにしてください。
- ・下地面に汚れやチョーク等による文字などが残っている場合は除去するようにしてください。
- ・パテは下地と同色のものを使用するようにしてください。
- ・張り替えの際、裏打ち紙が下地面に浮いた状態で残っている場合は、必ず剥がしたあと施工するようにしてください。浮いた所の上で施工しますと、目開きの原因になります。

■接着剤

- ・糊付け機を使用しての糊付けは可能です。
- ・接着剤は原液タイプをお薦めします。希釈タイプ使用の場合は糊：水＝10：6～7程度にエチレン酢ビ系ボンドを10～20%程度混合してください。また、塗布量は多めにしてください。（このエチレン酢ビ系のボンドを混合しますと、接着剤の乾燥が早まりアイハギの発生時間も早くなりますので注意が必要になります。）
- ・濃度の薄い接着剤は糊が吸い込まれてしまい、接着力が落ちる他に、壁紙を余計に延ばして、後の目開きの原因にもなります。
- ・粘りの強い接着剤を使用すると、糊溜まりの原因になりやすいので注意してください。
- ・壁紙表面に接着剤をつけたまま放置しますと変色の原因になりますので、ただちに拭き取るようにしてください。

■養生・オープンタイム

- ・ 接着剤塗布後は、うませ時間を 10～15 分程度、施工可能時間は 60 分以内を目安に作業を進めてください。
- ・ タタミジワを防ぐため、糊付け後は必ず大きくたたんで上積みは避けてください。

■なで付け・ジョイント

- ・ 横段調のためジョイント部分が目立ちやすくなりますので、目地取り施工をおすすめします。
- ・ ジョイント部分のなで付けは横方向には行なわないようにしてください。材料を引っ張ってしまうことになり目開きの原因になります。
- ・ なで付けの際はやわらかな刷毛を、ローラー掛けの際はウレタン製のものを使用してください。あまり強く擦るとテカリが生じる場合があります。
- ・ ジョイントが目立ちやすい傾向にありますので、カーターは薄刃のものを使用し、こまめに替えて常に鋭利な状態でお使いください。
- ・ 壁紙表面に接着剤等が付着した場合は、直ちにきれいな水で拭き取ってください。変色の原因になります。また、商品表面に水分がつかないようにご配慮ください。商品がカールする場合があります。
- ・ 自然素材のため、色柄やジョイント部に色差が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

■その他

- ・ 施工後は、外気や冷暖房などによる急激な室温の変化を避けるようにしてください。目開きやハガレ等の原因になります。